



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2017年7月21日

大阪市立大学

都市防災教育研究センター(CERD)主催

第17回 サイエンスカフェ(防災研究座談会)を開催

速報! 九州北部集中豪雨

—局地的短時間豪雨に行政と住民はどう対応できたか!—

大阪市立大学 都市防災教育研究センター (CERD) は、平成 29 年 7 月 31 日 (月) に、杉本キャンパス 学術情報総合センター 1F 文化交流室において、「第 17 回サイエンスカフェ (防災座談会)」を開催します。

この「サイエンスカフェ」は防災教育・研究のシーズやプロジェクトの情報共有や連携促進を目的として CERD が実施・運営しています。今回のテーマは、今年 7 月 5 日からの大雨に端を発し、人、建物、まち、産業に大きな被害をもたらした「九州北部豪雨災害」。いち早く現地に入り、被害の実態を調査した ADI 災害研究所の理事長 伊永 勉氏から行政の対応や住民の避難行動を中心に、調査結果について報告していただきます。

災害はいつ起こるか分からず、もちろん関西も例外ではありません。いざという時のために日頃から備えておくことが大切です。既に防災活動に取り組んでいる方はもちろんのこと、これから始めようという方のご参加をお待ちするとともに、是非ご取材をご検討いただきますようよろしくお願い致します。

記

日 時：平成 29 年 7 月 31 日 (月) 16:30~18:00 (受付開始: 16:00)

場 所：杉本キャンパス 学術情報総合センター 1F 文化交流室

(アクセス http://libweb.media.osaka-cu.ac.jp/?page_id=112)

講演者：一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長 これなが つとむ 伊永 勉 氏

司 会：重松 孝昌 (大阪市立大学 大学院工学研究科 教授/CERD 災害リスクユニットリーダー)

これなが つとむ
伊永 勉

一般社団法人 ADI 災害研究所 理事長

1995 年の阪神淡路大震災において、我が国初の官民連携ボランティア本部の設立をきっかけに、その後 23 回に渡り国内外の大規模災害における被災地救援と、後援支援の調整を目的とした災害救援コーディネータに従事。ボランティアを引退した後、災害研究所を設立し、国地方自治体の防災計画や訓練、全国各地の自主防災組織と企業を対象とした防災の啓発活動を推進し、延べ 2 千回を超える実績を積んでいます。



参加費：無料

定員：80名

申し込み：不要（※当日、開始時刻までに会場へお越しください。）

■ご取材について

本学の防災に関する取り組みにご興味をお持ちいただきご取材にお越しいただける場合は、開催当日〔7/31（月）〕の13時までに、電話かメールにて広報室までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【広報室】 TEL：06-6605-3411 / E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

【本件に関する問い合わせ先】
公立大学法人大阪市立大学 広報室
担当：三苫
TEL：06-6605-3410 /3411
E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp